

鳥取県内における感染症集団発生件数(表 17 参照)

令和 5 年の鳥取県での感染症集団発生は、感染性胃腸炎 49 件、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1 件、R S ウイルス感染症 11 件、咽頭結膜熱 2 件、手足口病 4 件、ヘルパンギーナ 3 件報告があった。このうち、感染性胃腸炎は対前年 27 件の増加、R S ウイルス感染症は対前年 11 件の減少であった。

感染性胃腸炎は 1 月から 12 月、R S ウイルス感染症は 5 月から 7 月にかけて集団発生報告があった。また、感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが 21 件、ロタウイルスによるものが 1 件、その他（原因不明も含む）が 27 件であった。

インフルエンザによる臨時休業は 425 件、集団発生は 155 件であり、新型コロナウイルス感染症の感染対策が効果をあげていた前年度と比べて増加した。

新型コロナウイルス感染症は、5 月の 5 類移行前に 171 件、5 月の 5 類移行後 229 件集団発生報告があり、インフルエンザに次ぐ件数となった。

表 17 鳥取県内における感染症集団発生件数

															令和5年12月31日 現在 ※()は前年換算		
疾病名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
															12月時点	年間	
1. 感染性胃腸炎		4 (6)	9 (2)	7 (1)	14 (9)	5	3 (4)	1	1	1	1	1	2	49 (22)	(22)		
再掲	ノロウイルス	4 (6)	6	6	2 (6)		1			1		1		21 (12)	(12)		
	ロタウイルス		1											1 (0)	(0)		
	サボウイルス													0 (0)	(0)		
	その他(原因不明も含む)		2 (2)	1 (1)	12 (3)	5	2 (4)	1	1		1		2	27 (10)	(10)		
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							1	(1)	(1)	(2)	(1)			1 (5)	(5)		
3. RSウイルス感染症						2	1	8 (3)	(5)	(9)	(3)	(2)		11 (22)	(22)		
4. 咽頭結膜熱			(1)			1							1	2 (1)	(1)		
5. 手足口病		(2)	(1)				1 (2)	1	1	1				4 (5)	(5)		
6. ヘルパンギーナ							3							3 (0)	(0)		
7. 水痘														0 (0)	(0)		
8. 流行性角結膜炎														0 (0)	(0)		
9. インフルエンザ	臨時休業	4	4	6		3	1	1		38	##	##	100	425 (0)	(0)		
	集団発生	2	7	10	4	4			2	6	21	48	51	155 (0)	(0)		
10. 新型コロナウイルス感染症 (5類移行前)		90 (22)	43 (33)	20 (18)	15 (28)	3 (28)	(13)	(92)	(119)	(38)	(43)	(82)	(184)	171 (720)	(720)		
11. 新型コロナウイルス感染症 (5類移行後(5月8日以降))						3	16	46	60	59	11	17	17	229 -	-		